

株式会社 松屋 2016年4月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	-7.0	-4.4
② 銀座店	-7.0	-6.6
③ 浅草店	-7.2	-0.7

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移 (単位:%)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
銀座本店	27.8	26.8	29.1	35.2	20.2	16.4	5.3	5.4	9.0	6.2	-2.2	-7.0
松屋銀座	30.4	29.8	32.9	39.5	22.0	18.2	6.4	6.1	10.2	6.6	-2.1	-7.0
松屋浅草	0.2	0.1	-5.6	-5.0	-0.2	-4.3	-5.3	-2.1	-5.6	0.8	-3.0	-7.2

3. 店舗別商況

銀座店	銀座店は、婦人衣料キャリアゾーンにてパンツ等のボトムスが好調に売上高を伸ばしましたが、他のアイテムが伸び悩み、婦人・紳士衣料ともに売上高は鈍い結果となりました。免税売上高につきましては、化粧品などの消耗品が引き続き好調に推移していますが、前年の大きなインバウンド売上高と対比いたしますと、一般品を含めやや落ち着いた動向となりました。また、先月同様、食品売場の改装や一部店内の施設の更新等による工事影響、加えて前年開催いたしました文化催事「誕生60周年記念 ミッフィー展」における売上高・入店客数の影響が大きく、店全体での売上高は前年を割りました。
浅草店	浅草店は、惣菜・婦人雑貨が好調でしたが、主力の生鮮三品・婦人服・化粧品が前年に届かず、店全体では前年割れという結果に終わりました。

4. 商品別売上高対前年増減率 (単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	-7.1	-7.1
婦人服・洋品	-2.9	-2.2
子供服・洋品	-14.6	-14.6
呉服寝具他	104.6	107.2
衣料品計	0.1	0.6
身廻り品	-13.7	-13.9
雑貨	-1.2	0.6
家具	-21.2	-21.0
家電	-27.6	-27.6
家庭用品	14.3	13.3
家庭用品計	-8.8	-8.9
食料品	-3.7	-4.1
食堂・喫茶	-8.5	-8.5
サービス、その他	-28.4	-29.5
合計	-7.0	-7.0

商品別概況(銀座店)

*紳士服・洋品は、主力となる紳士スーツが不調に付き、売上高は前年を下回りました。
 *婦人服・洋品は、キャリア層の春物・初夏物等のブラウス・セーター・パンツが好調も、シニア層の衣料品がやや不調に付き、売上高は前年を下回りました。
 *子供服・洋品は、主力となる子供服の前年割れが要因となり、全体で売上高は前年を下回りました。
 *その他の衣料品は、大型催事「銀座のきもの市」が開催され、大幅に売上高を伸ばすことが出来ました。
 *身廻り品は、婦人靴・ハンドバッグの不調が要因となり売上高は前年を下回りました。
 *雑貨は、化粧品の売上高が全体を牽引したものの、両店計では売上高は前年を下回りました。
 *家庭用品は、リビングフロアの改装等を経て和洋食器は好調に推移しましたが、家具等の売上推移が要因となり、売上高は前年を下回りました。
 *食料品は、弁当・惣菜・生鮮グロッサリーの好調な売上が全体を牽引したものの、一部改装中の和菓子ゾーンの売上減が要因となり、売上高は前年を下回りました。

(特記事項)
 *「銀座のきもの市」(4/5~11、8階イベントスクエア) 前年比105.8%